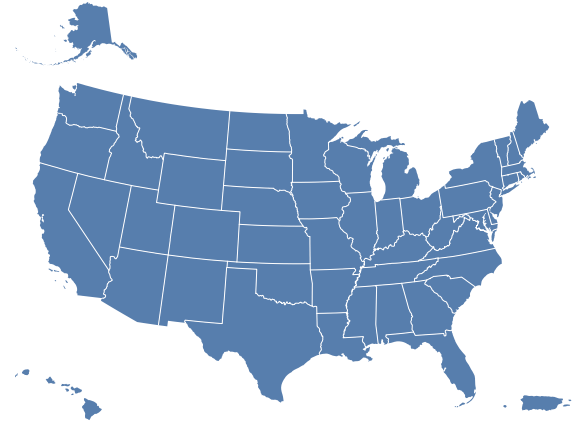


2020年国勢調査計数疑義解決業務



2020年国勢調査計数疑義解決業務(CQR)は、公式な2020年国勢調査計数の再検討を請求する機会を、部族、州(state)、地方自治体に提供します。この業務では、法的境界の不一致、住宅数および人口数の処理における潜在的なエラーを確認します。

自分の数に疑義のある政府は、この手続きを利用して、以下の状況の再検討を請求することができます：

- **境界に関する事例。** 2020年1月1日時点で有効な法定政府単位の境界、およびその境界によって影響がある関連住所を再検討することができます。
- **住宅数に関する事例。** 住宅の地理的な場所または位置、関連人口を再検討することができます。また、国勢調査の結果を再検討し、国勢調査の処理エラーによって有効な住宅および関連人口データが除外されていないかどうかを判断することもできます。

CQRは、区画改訂のデータ、議員数割り当ての結果、その他の2020年国勢調査のデータ成果物を変更することができますか？

- CQRは、2020年国勢調査の公式データを変更しません。
- エラーが見つかったために変更が必要になった場合は、正誤表を発行します。この表には、修正を加えた各国勢調査ブロックの住宅数および人口数の更新が含まれます。

- また、人口推定に使用する国勢調査の集計値も毎年更新します。

CQRへの要請で変更できない情報は？

- CQRは、アメリカ合衆国国勢調査局が個人情報保護のために使用しているディファレンシャル・プライバシーに基づくデータの変更には関与しません。
- CQRは、州(state)の議員数割り当て数における全人口またはアメリカ合衆国下院の議席数に影響を与えたり、変更したりしません。

このプログラムでは、誰が再検討請求を提出できるのですか？

- CQR請求は、連邦政府が認めたネイティブ・アメリカン部族、州(state)、郡、編入地、活発に機能している小行政区画、プエルトリコのムニシピオ、アラスカ先住民地域法人、アラスカ先住民村落統計地域の最高位の選出または任命職員(またはその担当者)のみ提出が可能です。

国勢調査局は、2020年の国勢調査で提出されたCQR請求のリストを公開しますか？

- お問い合わせをいただいてから通常90日以内に事例における作業を終了し、対象となるリクエストの最新リストを<www.census.gov>で公開します。第13編に従い、請求に関する具体的な内容を開示することはできません。
- いただいたCQRの請求には、対象外の請求であっても、すべて回答いたします。

CQRの作業のスケジュールは？

- 2021年12月に、国勢調査局は、アメリカ合衆国内の4万の部族、州 (state)、地方自治体にCQRの業務について通知し、参加方法に関する詳細情報を提供します。
- 2022年1月3日からCQRの事例の受付を開始します。事例の提出期限は2023年6月30日です。

- 2023年9月30日までの間、随時結果を提供します。結果は、影響を受けるすべての政府の最高位の選出または任命職員に提供され、また、census.govに正誤表としても掲載されます。

CQR報道資料

<www.census.gov/newsroom/press-kits/2021/2020-census-count-question-resolution.html>